

令和7年度 町政執行方針



3月6日から開催された第1回町議会定例会において、岩村町長が令和7年度の町政執行方針と予算編成概要を述べましたので、お知らせします。

令和7年第1回町議会定例会の開会にあたり、私の町政執行に対する基本姿勢および考え方、ならびに令和7年度予算概要について申し上げます。

平成17年10月、旧八雲町と旧熊石町が合併し、日本で唯一、二つの海をもつ町として「新八雲町」が誕生してから20年を迎えます。この間、両地域の融和融合と発展に向けて、町民皆さまがそれぞれの立場や分野において、まちづくりにご尽力いただいたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。

そして、私の町政3期目の任期も、早いものであと7か月余りを残すところとなりましたが、人口減少、少子化のスピードを少しでも緩めるためには、主に産業の活性化と働く場所をつくることが重要であると考え、施策を推進してまいりました。

農業においては、経営の安

定化および担い手の確保・育成に向けた施策を生産者、関係団体等と連携し推進してまいります。また、醸造用ぶどうなどの新規農作物の導入・拡大によるブランド化、付加価値向上に努めてまいります。

漁業については、温暖化の影響もあり、秋サケの不漁をはじめ、ホタテ養殖では、貝毒の発生、稚貝のへい死・生育不良や採苗不振が深刻な状況にあるため、各漁協および水産加工業者等と連携し対応してまいります。また、「北海道二海サーモンプロジェクト」は、八雲町の産業振興はもとより、日本海沿岸地域、道南全域のサーモン養殖事業を牽引する役割を担い、生産体制の強化および種苗の生産拡大を推進してまいります。

商工業については、物価高騰対応と町内経済の循環を目的に、「物価高騰対応プレミアム商品券」の発行に対して支援を行い、消費喚起を促進

してまいります。また、中小企業・小規模事業者の設備投資による生産性の向上や、起業・創業・事業承継に伴う支援を行ってまいります。

ウイスキー蒸留所誘致事業については、八雲町と民間企業が出資する新会社により蒸留所の建設および事業の展開を推進してまいります。

脱炭素社会の実現に向け、現在、太陽光発電、バイオマス発電が稼働しておりますが、令和7年度は、熊石平田内川における小水力発電施設が稼働する予定で、民間活力との連携による再生可能エネルギーの導入と産業振興に努めてまいります。また、松山沖洋上風力発電事業については、法定協議会で本格的な議論が始まっており、関係自治体等と連携し取り組んでまいります。

「北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備」については、開業時期が延期の見込みとなりましたが、駅周辺整備計画をはじめ、二次交通、観光施策、関連するインフラ整備などについて引き続き検討を重ねてまいります。

「新役場庁舎等整備事業」は、底のデザインについて設計変更を行い、令和7年度中

の建設工事着工、令和9年度中の供用開始に向け準備を進めてまいります。

近年、増加傾向にある自然災害を背景に、町民の防災意識が高まっていることから、令和6年度に危機対策課を新設し、防災専門官を配置したところであり、災害に強い安全・安心なまちづくりに力を注いでまいります。

「ふるさと応援寄附金奨励事業」については、町内経済への波及効果や貴重な財源としてまちづくりに活用させていただいていることから、全国に向けたPR活動を推進してまいります。

八雲総合病院は、北渡島檜山医療圏の人口減少が進む中、町民および圏域の住民の健康を守る基幹病院として、医師確保をはじめ、効率的な病院経営と経営健全化に努めてまいります。

熊石国民健康保険病院は、地域のかかりつけ病院としての役割を担っており、医療環境の改善・充実を図るため、令和7年8月の開院を目指し、建替工事を進めてまいります。

また、八雲総合病院と熊石国民健康保険病院の連携を深め、地域医療提供体制の強化および財政負担の軽減に取り